



2024年11月14日

各位

会社名 株式会社レオクラン
代表者名 代表取締役社長 竹内 興次
(コード: 7681、東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部副本部長 西本 篤史
(TEL. 06-6387-1554)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年11月14日開催の取締役会において、資本コストや資本収益性、株価について現状分析・評価を行うとともに、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた方針や具体的な取組みについて決議いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上



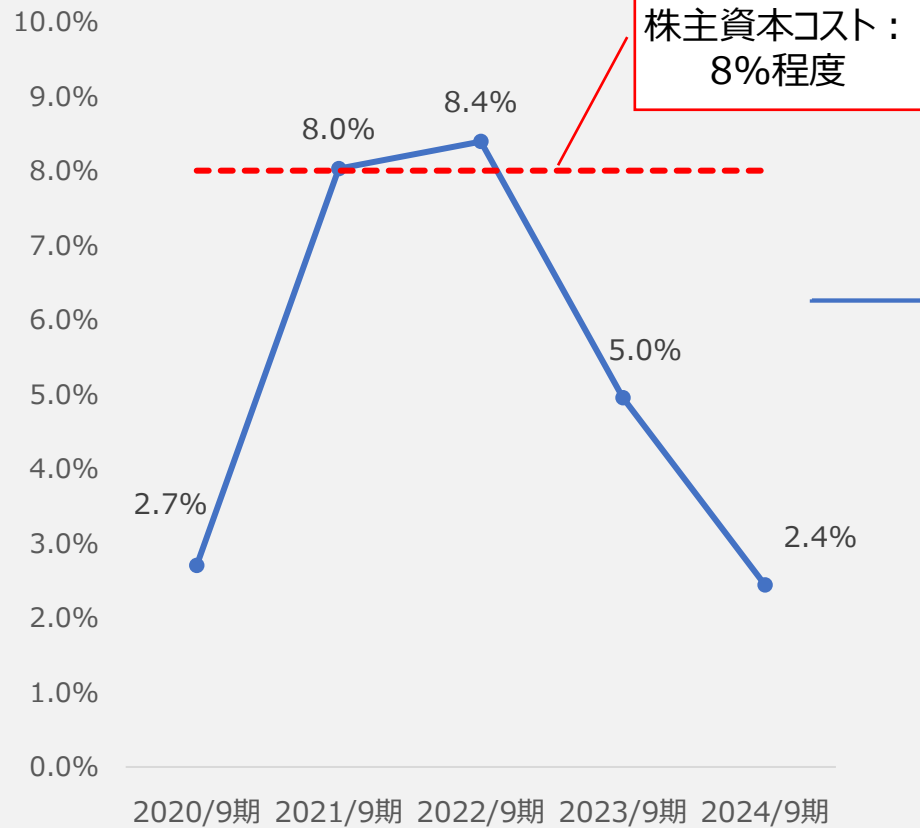
株式会社 レオクラン

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2024年11月14日



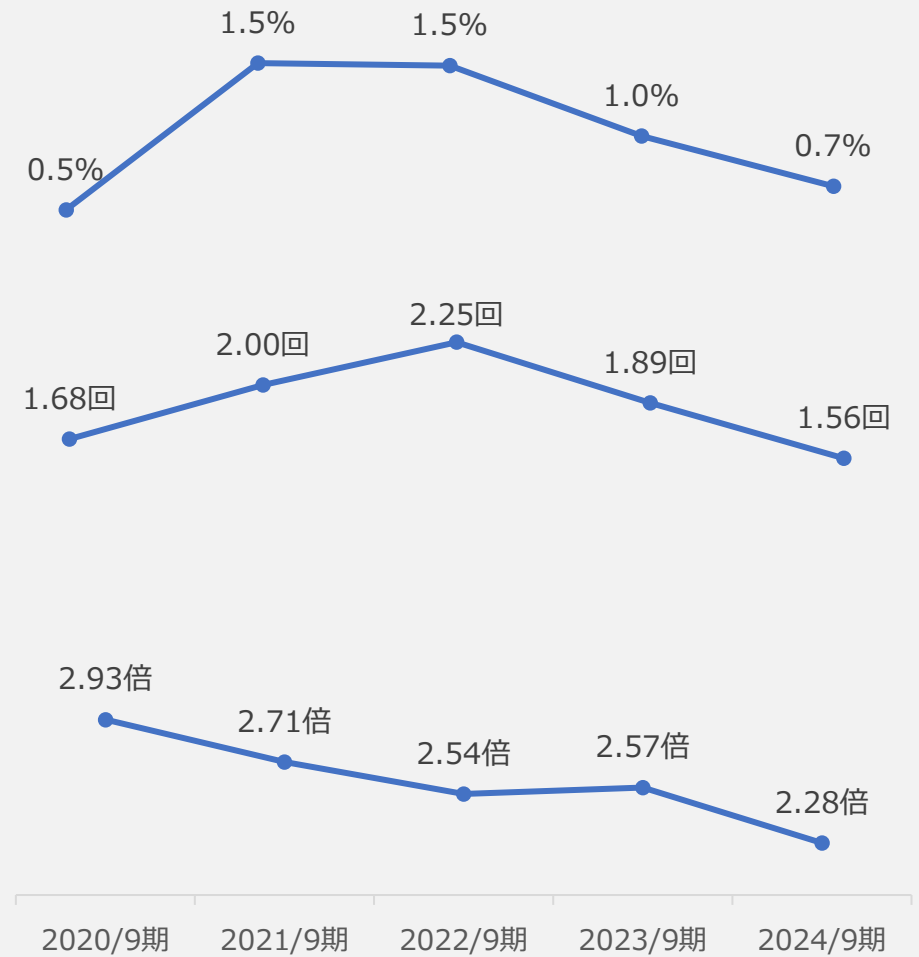
1.現状分析 – ROE推移



売上高当期
純利益率

総資産
回転率

財務
レバレッジ



現状分析

取り組むべき課題

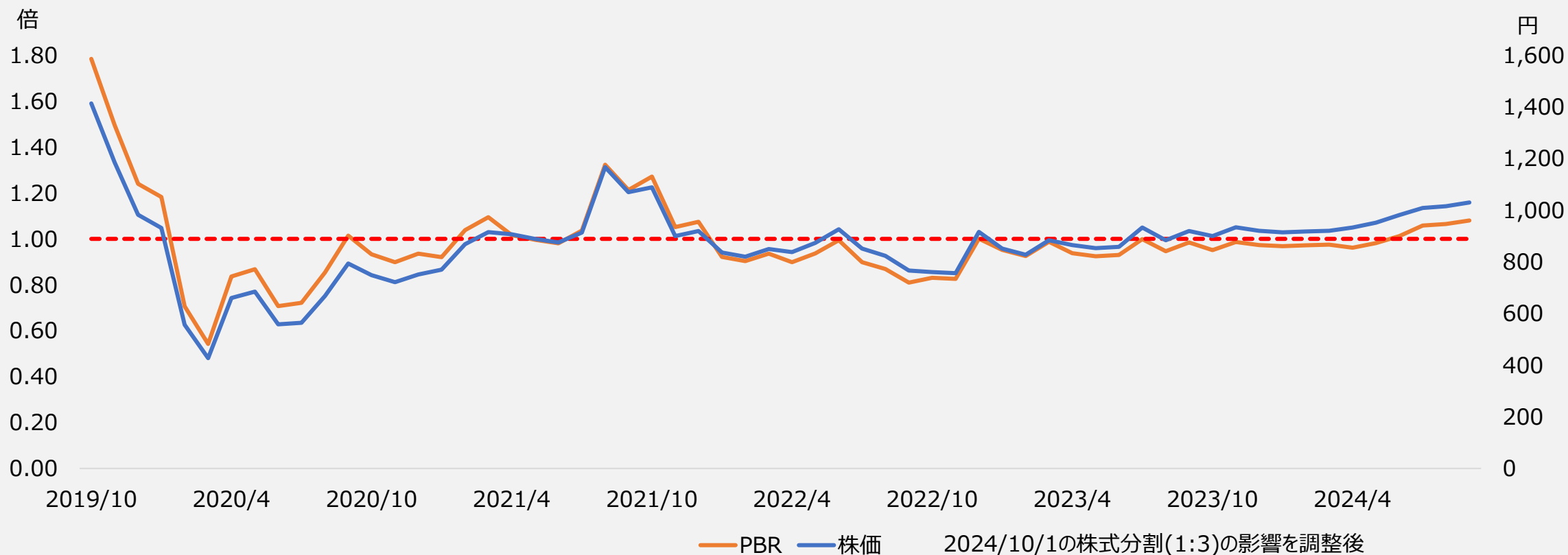
資本収益性

当社のROEは、株主資本コスト(8%程度と想定)を上回る水準となることもあるが、業績の変動により、直近では株主資本コストを下回る水準に低下している。
売上高当期純利益率と総資産回転率の改善と安定化が課題。

成長戦略の実行
成長に向けた投資



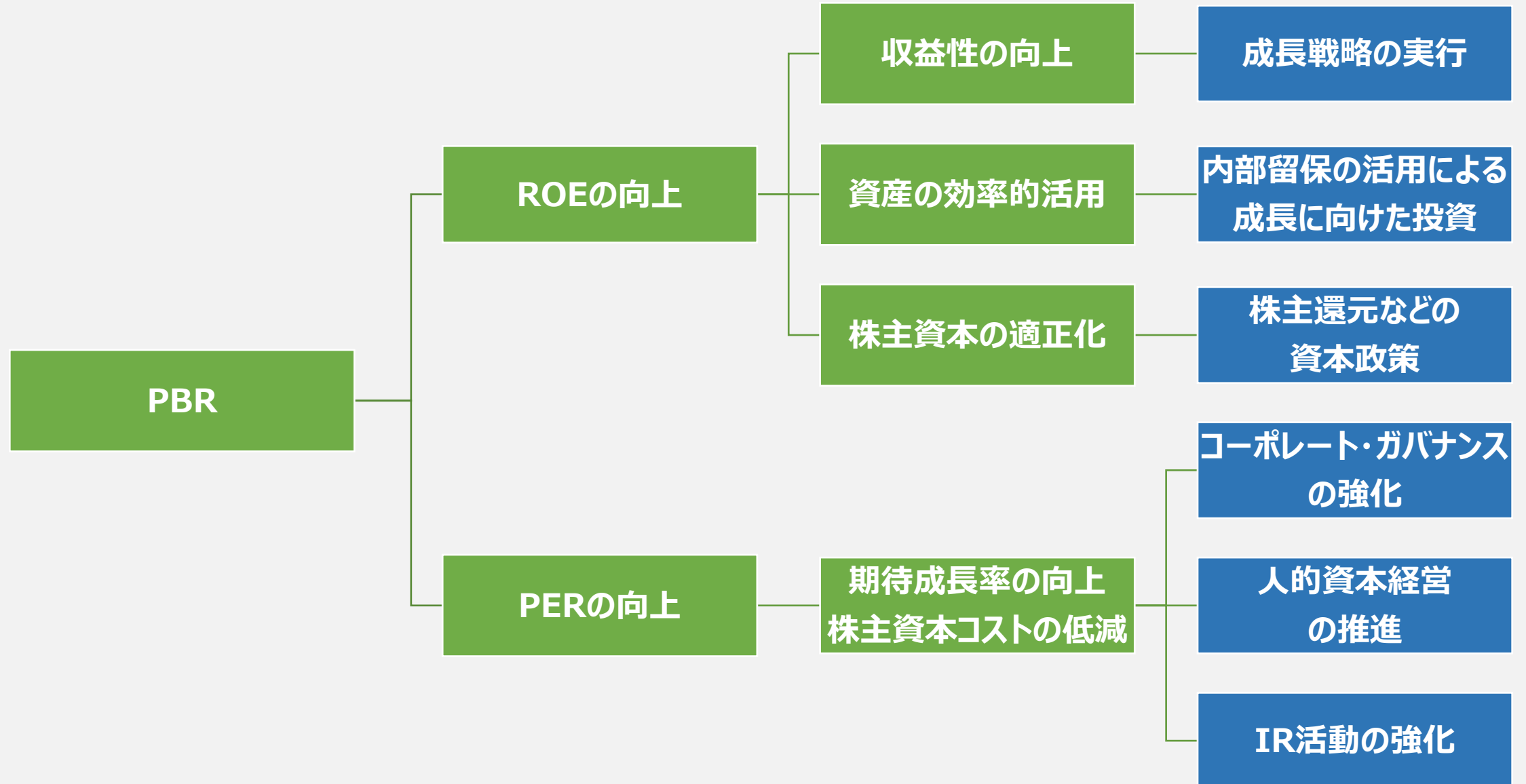
1.現状分析 – 株価・PBR推移



	現状分析	取り組むべき課題
市場評価	<p>当社のPBR(株価純資産倍率)は概ね1倍前後で推移しており、市場からの高い評価は得られていない状況。</p> <p>低い流動性、規模、知名度の低さから投資家からの投資対象となっていないこと、将来に向けた成長性が投資家から十分に評価されていないことが要因にあると分析。</p>	<p>コーポレート・ガバナンスの強化</p> <p>人的資本経営の推進</p> <p>IR活動の強化</p>



2.PBR向上に向けた対応方針





3.PBR向上に向けた具体的な取り組み

対応	具体的な取り組み
成長戦略の実行	<ul style="list-style-type: none"> ✓ トータルパックシステム獲得の強化に向け、営業人員の強化・専門部署による新規案件アプローチの強化 ✓ IT関連ビジネスの強化 ✓ 一括保守ビジネスの強化
内部留保の活用による成長に向けた投資	<ul style="list-style-type: none"> ✓ M&A・事業提携などの投資戦略の実行 ✓ DX・システム投資
株主還元などの資本政策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安定配当の継続に加え、配当性向の引き上げも検討(現状20～30%) ✓ 株式分割(2024年10月1日実施済み)
コーポレート・ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コーポレート・ガバナンス体制の整備推進 ✓ 適切なリスク管理・対策の実施
人的資本経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 持続的成長を支える人財への投資・育成の強化 ✓ 従業員のエンゲージメントを高める施策
IR活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 投資家等との対話の充実 ✓ 情報開示の拡充